

地域における琉球銀行

地域とともに

社会貢献活動を展開

琉球銀行は、社会活動も地域金融機関にとっての重要な役割と考え、各地域での清掃活動や諸行事への参加、福祉や環境保全への助成など、さまざまな活動に取り組んでいます。

また、公益信託代理店として、社会福祉活動に関わる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」、「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の運営に携わっています。

～経済と環境について学ぼう～ 「りゅうぎんキッズスクール」



熱心にゲームに取り組む生徒たち



琉球銀行では、県内の小学生に対する経済教育を目的として、夏休み期間中に小学校高学年の生徒を対象に「りゅうぎんキッズスクール」を開催しています。経済の仕組みやお金の流れ、銀行の役割などを楽しいゲームを通して学ぶもので、参加児童、父母から好評を得ています。今年も、沖縄の自然環境やアウトドアについて学ぶ「環境ミニセミナー」もあわせて開催しており、継続的なCSR活動の一つとして位置付けています。

※平成15年より開催している「りゅうぎん子どもお金教室」は、今回(平成20年)から、～経済と環境について学ぼう～「りゅうぎんキッズスクール」と名称変更して開催しています。



ミャンマーサイクロン被災者へ支援金助成



北谷町全域の安全マップ

「りゅうぎんユイメール助成会」

琉球銀行では、役職員による募金と同額の銀行からの寄付金を基金とする「りゅうぎんユイメール助成会」を運営し、地域の福祉活動や環境保全活動を支援しています。平成19年度には、「沖縄県交通遺児育成会」、「歳末たすけあい募金」、県内の小規模作業所などへの寄付や小規模作業所の自立支援を目指すイベント「りゅうぎんナイスハートバザール」を開催しました。また、大地震などで甚大な被害のあった地域へ義援金を贈呈したほか、地域の児童の安全確保を目的として、北谷町PTA連合会作成の北谷町全域の「安全マップ」の作成費用も助成しました。

「りゅうぎんユイメール助成会」は、平成5年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、さらに募金と同額を銀行が寄付することで基金を造成します。例えば、役職員から200万円の募金が集まった場合、銀行も200万円を拠出し、合計400万円を助成会の活動原資とする仕組みです。りゅうぎんユイメール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は、270件、1億1,617万円となりました。(平成20年7月現在)



「りゅうぎんふれあいコンサート」

琉球銀行では、平成10年からオペラや演劇などさまざまな文化事業を通じた社会福祉、地域貢献活動として、「りゅうぎんふれあいコンサート」を開催しています。コンサートにはこうした公演に触れる機会の少ない障害のある皆さまを積極的に招待してきました。平成19年12月には、「残波大獅子太鼓」を沖縄コンベンションセンターで開催し、1,500枚の招待券を県内の小規模作業所や老人福祉施設へ贈呈しました。これまでのふれあいコンサートへの招待人数は、今回を含めて9,760名となりました。



公益信託による社会貢献(公益信託契約代理店業務)



第13回宇流麻福祉基金助成金授与式

琉球銀行は、公益信託契約代理店として、社会福祉活動に関わる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の運営に携わっています。

「宇流麻福祉基金」は、源河朝明氏より委託を受けた公益信託として、平成8年12月に設立され、沖縄県内で社会福祉活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。

「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」は、平成10年11月に設立され、那覇市を中心に県内の社会福祉に関わる活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。

「宇流麻福祉基金」

(助成実績89件、3,555万円 平成20年7月現在)

「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」

(助成実績101件、4,907万円 平成20年7月現在)



第16回りゅうぎん紅型デザイン公募展表彰式

りゅうぎん紅型デザインコンテスト

沖縄県の伝統工芸の一つである紅型の振興と若手工芸家の育成ならびに紅型デザインの新しい領域を追求していくことを目的に、「りゅうぎん紅型デザイン公募展」を毎年開催しています。応募作品は展示会で発表するとともに、入賞作品については当行のカレンダーや通帳、広報物などに広く活用しています。

※りゅうぎん紅型公募展は、第17回(平成20年)より、りゅうぎん紅型コンテストに名称を変更しています。